

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回所沢市特別職報酬等審議会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 2 2 日（水） 午前 9 時 3 0 分から 1 1 時 3 0 分
開 催 場 所	所沢市役所 高層棟 6 0 2 会議室
出 席 者 の 氏 名	倉片 順司、須貝 公哉、鈴木 雅也、仲 志津江、平塚 綾子、 藤方 宏実、星野 泉、本間 淳、安田 敏男 (五十音順、敬称略)
欠 席 者 の 氏 名	樋浦 裕美 (敬称略)
説明者の職・氏名	
議 題	1 . 諮 問 ・ 所沢市議会の議員の議員報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長、教育長、常勤の監査委員の給料は適正であるかどうか。 ・ 改定の必要があるとすれば、その実施時期はいつからが適当か。 2 . その他 【会議の公開について】 【会議録の作成方法について】 【スケジュール・開催趣旨・資料説明】

会 議 資 料	委員名簿、事務局職員名簿、会議の公開指針、審議会条例、特別職報酬等審議会に関する国の通知（特別職の報酬等について）、前回の特別職報酬等審議会概要、前回の特別職報酬等審議会諮問文（写）、前回の特別職報酬等審議会答申（写）、所沢市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、所沢市常勤の特別職の職員の給与等に関する条例、所沢市議会政務活動費の交付に関する条例、特別職報酬等審議会に関する国の通知（特別職の職員給与について）、特別職の仕事内容、議員の仕事内容、常勤特別職の給料の改定状況、平成21年4月1日減額答申、所沢市一般職職員の給与改定の仕組み及び給与改定の状況、近年における消費者物価上昇率、市長・副市長・教育長・常勤監査委員の給与支給状況（県内 人口順）、市長・副市長・教育長・常勤監査委員の給与支給状況（施行時特例市 人口順）、議長・副議長・議員の報酬支給状況（県内 人口順）、議長・副議長・議員の報酬支給状況（施行時特例市 人口順）、議員の政務活動費（県内 人口順）、議員の政務活動費（施行時特例市 人口順）、議会議員の活動状況（県内 人口順）、議会議員の活動状況（施行時特例市 人口順）、令和6年度決算状況（県内 人口順）、令和6年度決算状況（施行時特例市 人口順）、所沢市の財政状況の今後について、
担 当 部 課 名	総務部 職員課 電話04-2998-9048 出席者 総務部長 柳田 晃芳、総務部次長 田中 浩文、職員課長 中村 順史、職員課主査 森田 和希、職員課主任 東 高峰

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	（小野塚市長より各委員への委嘱状交付後、市長挨拶、委員及び事務局の自己紹介を行った。続いて、会長、職務代理の選任を行い、会長には星野会長、職務代理には倉片委員が選任された。小野塚市長から会長へ諮問文を交付した後、審議に入る。）
	【会議の公開について】
星野会長	最初に公開非公開を決めることになります。 所沢市情報公開条例第 2 5 条に基づき通常は公開するものになっております。「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき、審議会の会議は、原則として公開するものとなっておりますが、本審議会については、公正又は円滑な運営に著しい支障が生ずる場合には、非公開とすることもできます。まず検討いただくのは、原則どおり公開でよろしいでしょうか。何かしら問題があればこの場で考える事とします。
安田委員	異議ありません。
	（他の委員からも異議の声なし）
星野会長	では公開といたします。また、「所沢市の会議の公開に関する指針」において、会議録を作成して保存することとされています。令和 5 年度及び令和 6 年度に実施した前回の審議会では、名前を含めて全て記録を残すという事になりました。委員の名前を伏せる方法もありますが、前回も委員をされていた安田委員、いかがでしょうか。
安田委員	私は名前を公表すべきだと思います。
星野会長	前回も名前を含めて公表し、特段の支障はありませんでしたので、私も公表で良いと思いますが、何かご意見ありますか。発言した内容一字一句全てでは無いですが、おおよその内容が会議録として、名前を含めてホームページに載るのですよね。
中村課長	はい。おっしゃるとおりでございます。
星野会長	皆様、公表で大丈夫でしょうか。
	（異議の声なし）
星野会長	では、前回と同じという方法で行いたいと思います。よろしくお願いいたします。

中村課長	ありがとうございます。 会議録の作成方法も決まりましたので、傍聴人を確認したいと思います。（確認後）傍聴人はお一人いらっしゃいます。これより入室していただきますので、しばらくお待ちください。
	（傍聴人の手続き）
	【会議のスケジュールについて】
中村課長	当会議のスケジュール等について改めてご説明させていただきます。本日の会議は２時間程度、１１時３０分頃までを予定しております。今後の予定は、本日を含めて３回の審議会を予定しております。
	【審議会開催の趣旨について】
中村課長	続きまして、今回の審議会開催趣旨について説明いたします。 近年における社会情勢の変化は著しく、物価高騰や労働力不足などの背景もあり、給与の水準は大幅な上昇傾向にあります。地方公務員の給与につきましては、人事院が行う人事院勧告という、国家公務員の給与水準についての勧告の内容をもとに改定を行っていますが、令和５年度以降、毎年大幅なベースアップが行われている状況です。このような情勢の中、市長等、特別職の給料、また市議会議員の報酬の額につきましては、直近で平成２１年の改定を最後に、据え置き状況にあります。現在の特別職報酬等が適切な水準にあるのか、皆様に議論をしていただきたく、本審議会を開催したものでございます。 これからご説明させていただきます資料には、一般職員の給与の改定状況や、他の地方公共団体における特別職の給与の状況等の内容が載せておりますので、委員の皆様には、これらの資料を参考に、十分にご審議いただければと思います。 それでは、資料の説明をさせていただきます。お手元に資料をご用意ください。
	【資料説明】
森田主査	資料説明
星野会長	資料の説明をいただきました。これらの資料をもとに次回までに各委員におかれまして、ご検討いただくことになるようですが、更に説明をお願いしたいという資料などあれば質問をお願いいたします。

安田委員	前回の審議会では市議会議員の報酬等は対象ではなかったですね。対象でなかった事に対して時間もかけて議論し、答申書でも諮問に含めるべきではないかと書いたところですが、今回、市議会議員からは、議員報酬等も議論の対象とするという話はあったのでしょうか。諮問の内容について市議会議員から意見があったかお聞かせください。
柳田部長	前回の審議の中では、検討事項として条例に明記されている事項を全て含めるべきであろうとのご意見もございました。今回、報酬等審議会を開催するにあたっては、市として議題を決定するもので、議会側が議題を設定するものではありませんので、そのようなご説明をしたところ、特段、対象とする議題に関するご意見はございませんでした。
安田委員	今回はなかったという事ですね。
星野会長	他はいかがでしょうか。
安田委員	もう1つ質問を良いでしょうか。今回の審議の対象として、副市長、教育長、常勤監査委員等とありますが、市長は現在給与3割カットですよね。市長は政治家としての姿勢でカットしたと言いますが、副市長も議会の同意を得て選任されているのですから、役人ではなく政治家ですよね。副市長から事務局側の方に市長と同じで3割給与削減で良いというような意向は無かったのでしょうか。
柳田委員	特段、そういった意向や前提があつての議論ということはございません。
安田委員	わかりました。 もう1つ良いでしょうか。先ほど説明された職員から、所沢市は人事委員会が置かれてないから人事院勧告で給料改定をやっていくという説明がありましたが、中核市だと人事委員会の設置義務があるのでしょうか。
柳田部長	中核市であるから義務があるということはありません。
安田委員	各市の意思で人事委員会を作るわけでしょうか。
柳田部長	政令指定都市と県のみ設定されております。
安田委員	政令指定都市と県のみですね。わかりました。
星野会長	他はありますでしょうか。

安田委員	もう１つ質問があります。３６ページの議員の政務活動費ですけど、草加市がとても高いですね。所沢市は越谷市と同じくらいで、草加市は倍以上もらっていますが、事務局から草加市議会等にこの理由について、非公式でも結構ですけど、確認されていますでしょうか。
中村課長	草加市につきましては、現行金額は６０万円でございます。
安田委員	１０８万円というのは。
中村課長	１０８万円は改定される前の金額でございます。
安田委員	金額が減ったということですね。経緯はわかりますでしょうか。
中村課長	平成２９年の４月に改定されておりますが、細かい経緯等は把握できていない状況でございます。
安田委員	わかりました。今までは多くもらっていたけど、今度は１０８万円から６０万円に減らしたということですね。所沢市は４８万円から８４万になっていますが、越谷市と比較しても所沢市の方が金額は少ないということですね。
柳田部長	おっしゃる通りでございます。
安田委員	わかりました。
星野会長	他にございますか。
本間委員	月額報酬が出ていると思うのですが、賞与や期末手当はまた別にあるのでしょうか。
中村課長	２２ページの資料６をご覧くださいと思いますが、こちらに各団体の市長給与の額が載っております。その給料月額の隣に期末手当という記載もありますが、そちらがいわゆる賞与支給でございます。こちらを合わせた年間の支給総額が、右から２列目の年間支給総額と書いてあるところでございます。
本間委員	ありがとうございます。
安田委員	資料６で所沢市長は給料月額を３０％カットしているのでしょうか。
中村課長	３０％カットしていない金額で表記しております。
安田委員	カットしていないと２，０００万円弱もらえることになりますね。退職金については資料６には書いていないのでしょうか。
中村課長	退職金については記載しておりません。
安田委員	退職金は何故書いていないのでしょうか。
中村課長	今回議論いただく対象に退職金は含めていないためです。
安田委員	わかりました。

星野会長	他にございますか。配布資料に関係なくても結構ですので、ご意見等あればお願いいたします。 私の方から質問がございます。議員の場合は、居住要件がございますので、そこに住まなくてはなりません。住宅費または賃貸料の所沢市内の状況がわかる資料はあるのでしょうか。あれば、委員報酬について議論する材料になるので、資料を次回までをお願いできればと思います。 また、２２ページの団体名の上からさいたま市、川口市、川越市と続いてきて、川越市所沢市越谷市の人口が同じぐらいで、市税収入も同程度なのですが、川越市だけ歳入・歳出が倍までではないですが、かなり大きくなっていました。その原因が川越市だけが特別会計を含む表記だからという事がわかりました。川越市が提出時に誤って提出したと考えられるので、一般会計だけに直していただければと思います。
柳田部長	ありがとうございます。
中村課長	１点目の住宅費の他市との比較等の質問については、現時点では資料がございませんので、次回までにご用意いたします。
星野会長	次回の審議会開催時には、人事院勧告は出ていますでしょうか。
中村課長	８月の上旬に出る予定でございますので、次回の会議ではお示ししたいと思います。
星野会長	他に何かございますか。
安田委員	質問を良いでしょうか。市議会議員の出席率のような資料があれば、個人名は伏せてもかまいませんから、作成を検討してください。 議員の出席率というのは、欠席が多い人もいたりすると、真面目に出席している人も影響するといけないのでお願いしたいです。
中村課長	資料が作成できるかどうかを含めて確認させていただきます。
安田委員	審議会で出せるものは出すべきです。お願いいたします。
星野会長	安田委員、そのご意見で気を付けなければならないのは、この人が休んでいるから給料を下げるという話にならないでしょうか。
安田委員	そういうことにはならないです。そういう人がいた場合、真面目に出席している人が、そんなに休んでいる議員もいるのかと心証を害してはいけないから、一応そういう資料を出してくださいという話です。
星野会長	例えば５人休んでいる人がいるとして、こんなに休んでいる人がいるのだから給料を下げましょうという話にはあまりならないかと

星野会長	思います。
安田委員	我々は審議会ですから、そのような意見が出たということが大事であり、何でも良いとなると議会側から甘くみられて、結果として我々市民が困るわけですので、会長よろしくお願いします。
星野会長	調べられる範囲でお願いいたします。 他にございますか。
鈴木委員	安田議員のお話にありました通り、審議会で議論して、この議論の内容が市民への説明責任にもなるのだらうなと思います。だからこそ、出席率の話があるのだらうと思います。似たような話で、市長、副市長などの特別職の方の職責は書いていますけど、市政の置かれている状況が変化しているから、この役割が増えているだとか、そういった定量的な状況のデータをここに入れていただいているのですが、定性的な話をやっぱり理解した上で、だからこそ報酬を引き上げるべきかを議論すべきではと思っています。単にインフレ率が上がっているからあげるのではなくて、役割だとか、求める職責が変化しているから、その期待に対してお金を支払うべきとか、そういう議論というか、納得感があってもいいのかなとは思っています。今回は定量的な指標だけだと思うのですが、それに合わせて定性的な情報をいただけるとありがたいなと思います。
星野会長	ありがとうございます。
中村課長	承知しました。
星野会長	まだ時間もありますので、誰かお願いしてもよろしいでしょうか。藤方委員いかがでしょうか。
藤方委員	公募市民として市民を代表する立場となると、正直色々とわからない点が多いのですが。
星野会長	選挙によって選ばれている訳では無いので、市民を代表する必要はないです。
藤方委員	一般市民の感覚とすると、特別職や議員が何をされているか分からない事が多いですし、判断がつかないです。
鈴木委員	成果とか見るといいですね。
星野会長	成果を見るとすれば、1 つはこれまでの財政的な視点という事では決算カードがありますし、後は、行政的にどういう仕組みであるとか、給付とかサービスとかがどのように変化したか等を市のデータで調べるかですかね。
須貝委員	知識不足でわからないのですが、所沢市のホームページ等で、議員の実績等何かしらの報告は掲載しているのでしょうか。

星野会長	おそらく議員は自身のホームページで自分の成果を載せているだけだと思います。また、行政側ではそうした議員の成果の評価はしないでしょう。議員の活動や成果を確認するには、ご自身で議会を傍聴することもひとつかと思います。
安田委員	私も議員の動きがわからないのですよね。議員は自治会町内会にはほとんど来られません。自治会側が呼べば来てくれますが。以前は何かありませんかと色々聞いてくれたのですが、今は駅前に立っているだけというのが私の認識です。 特別職報酬等審議会があるというのは、議員に通告する必要はないのですが、議員は本審議会の存在を知っているのでしょうか。また、委員長にお聞きしたいのは、前回の審議会で、市長が変わって、所沢市は良くなったかどうかという資料を用意してほしいという話があったと思うのですが、今回は求めないのでしょうか。
星野会長	市民アンケートのようなものは有るのですよね。
安田委員	有ります。 今年の3月議会で市長の議案が初めて否決されました。政治的な動きであればそれまでなのですが、市民にとって何故否決されたのかわからないのですよね。否決したことが正しいかわからないし、その後に市長が予算を組み替えて終わってしまったのです。
星野会長	この政治家がいい人だから給料を上げるとか、良くない人だから上げないといった話ではなくて、役職に対して報酬の額をどうするか の議論なので、個々人の良し悪しの話で決める事ではないような気がします。
安田委員	もちろんそうです。この審議会では、これまでも県内の他市や全国の自治体とで比較して、横並びを意識して議論してきたと思います。しかし、アメリカの議会を例に挙げると、報酬がほとんどボランティアで、サンフランシスコでは12・13人ぐらいしか市議会議員がいないぐらいです。そうしたことも踏まえて、単に横並びにするのではなく、所沢市の報酬は例えば倍に上げて今まで以上に働いてもらうのだという結論が出てもいいですし、報酬を下げて議員がこれだけやってくれている、とするのも良いと思います。他の自治体の議会では議員のなり手がいなくなっているというのは、報酬だけの問題じゃないとも考えていますが、いずれにしても私はあまり横並びでやるのは好ましくないと思っています。
星野会長	報酬を決めるのは難しいです。例えば私の給料が適正かどうかというのは難しいです。大学でも民間企業にしても、その人の給料が適

星野会長	正かどうかというのは、おそらく同業他社と比較して、どちらの待遇が良いのか、優秀な人を取れる金額かということだと思っております。そのため、近隣や類似する他市との比較と、昔から今までの変化が主たる方法とならざるを得ないと考えます。やはり比較はそれなりに大事だと思います。そのため事務局がこのような資料を多く作っていただいているのだと思います。ご指摘のように、海外では議員の給料が安いということは確かにあります。但し、仕事の内容やその任用形態は大きく異なりますので、海外と比較したいところですが、なかなか難しいです。
鈴木委員	例えば一般事業会社、上場会社でも当然従業員との比較や同業他社との比較、予算との比較をやるというのは大前提です。そこに上乘せして会社だと株主に対してどう説明するか、自治体であれば市民にどう説明するかという中で、求められている役割や成果をどのように果たしたのか、これから求められる役割は何かというのをきちんと議論する必要があります。会社の場合であれば、そうしたことを報酬委員会できちんと検討して、その決定プロセスを透明化させる、そういう仕組みがあります。結果的に定量的なデータに基づいて、インフレ率に従って報酬を上げるとして、その前提としてその定性的な話の議論をしっかりとした上で、納得感を持って報酬を上げるというプロセスが欲しいです。所沢市はどのような街なのかとか、これから中核市になろうとしている中で仕事量も増えるかもしれないとか、市長や副市長に求められる役割が変化しているといった要素があれば、これからの報酬に対して決める話だから、期待も込めて上げましょうという話ができると思います。では、報酬を上げるとしてどこまで上げるのかは、インフレ率があるからこの指標を使いましょう、というような段階を踏んだ議論をすべきです。そうした議論がないままに我々委員がこのまま首を縦に振ったら、改定率に基づいて横並びで決めただけで終わるかと思います。そうならないために、定性的な話をもっとしませんかというところがあります。
星野会長	鈴木委員のおっしゃった事は理解できますが、求められる成果や役割を示すことは難しい面もあります。
星野会長	何か他に良いアイデアはございますか。

中村課長	ご意見ありがとうございます。特別職の成果についてご意見をいただきましたが、特別職の報酬は業績評価によるものではなく、あくまでその職務の特殊性に応じて、定められるべきものと国からも示されているところです。しかしながら、鈴木委員のおっしゃる事についても、議論いただくためには必要なところかと思っております。ここ数年、所沢市も大きく動いているところはございますので、そうしたことの概略がわかるような資料をご用意させていただきまして、それをご覧いただいて、特別職や議員が取り組んできたことや役割についてご判断いただければと思いますがいかがでしょうか。
安田委員	今回の会議で資料の提供があるという認識で良いでしょうか。
中村課長	次回までに、ここ数年の大きな動きを事業の紹介のような形にはなるかと思えますけど、紹介はできるかと思います。
星野会長	少しでも作成する努力をしていただければと思います。
仲委員	鈴木委員の方からもありました中核市のお話ですが、特例市の資料が出ていますけど、近隣の中核市の状況も資料としてお出ししていただけるとよろしいかと思えますけど、いかがでしょうか。
中村課長	県外の中核市の状況でよろしいでしょうか。
仲委員	はい。県内の中核市の状況は把握できましたので。
中村課長	承知しました。
仲委員	近隣の中核市の状況も確認させていただければと思います。今、中核市を目指してらっしゃるのですよね。
中村課長	はい。
鈴木委員	中核市になることで、特別職に与える影響は何かあるのでしょうか。
星野会長	中核市になったからといって、必ず財政的に豊かになるというわけではありません。明るい未来があるとすれば、自治体としての権限が大きくなりブランド力が高まることによる、中核市の住民なのだという住民の幸せ感とか、役所の職員のプライドみたいなところでしょうか。 他に何か議論しておきたいことはありますでしょうか。 鈴木委員のご意見の部分について、事務局として資料として用意できるようなものがあればお願いいたします。
中村課長	先ほど申し上げました通り、市の概略やここ数年の状況がわかるような資料が用意できればと考えております。

星野会長	平塚委員、何かありますでしょうか。
平塚委員	資料１０の所沢市の財政状況の今後についてですけど、数字的には 税収が増えていくと説明されているのですが、本当でしょうか。平 たく言うとな堅実な見込みなのかをお聞きしたいと思いました。 所沢市ではあまりないと思いますけど、人口が減りますとか、働き 手の確保が厳しくなりますとか、あまり世間一般的に良い話は聞か ないですね。所沢市では、一応これからも税収が増えていきます というような推計になっているんですけど、現実的に見て堅実な数 字になりますでしょうか。
中村課長	財政当局の方で最新の人口の推計ですとか、決算額等を見ながら、 推計をしているものでございますので、堅実なものと思っておりま す。市税につきましては、民間企業で好景気な状況もありまして、 給与所得が上昇してきていることや好調な企業の業績や区画整理 事業、産業団地の創出などの効果を踏まえまして、増収は見込まれ るものと考えております。
平塚委員	周りの状況を見ると高齢者ばかり増えており、その一方で、高度経 済成長にできたマンションでは人がいなくなっているのが現状で、 好ましい感じがしないです。だからといって子供がすごく増えてい るかという増えてないですし、自分の感覚と一致しないなという 気がします。それ以外のところでは、所沢市としては堅調な成長が できる見通しということでしょうか。
中村課長	はい。その通りでございます。
平塚委員	ありがとうございます。
星野会長	ひと通りご意見いただきまして、事務局にお願いした資料等は次回 配布されるかと思っておりますので、ひとまず議論は終わりといたしま す。事務局から連絡事項等ございますでしょうか。
	（事務局より第２回審議会の日程について連絡を行い、委員の予定 を確認）
中村課長	次回の開催については、至急調整いたしまして委員の皆様にご連絡 をさせていただきたいと思っております。最後に閉会の挨拶を、倉片委員 よりお願いいたします。
倉片委員	慎重な審議をありがとうございました。前回の審議会の資料はわか りにくかったのですが、今回ご提示いただいた資料は分かりやすくな っているなと思えました。事務局から配布された資料を皆様見て いただいて、次回もご審議いただければと思います。

倉片委員	本日はありがとうございました。
------	-----------------